



パパもママも読んでください。

第一保育園及び中部保育園の統合に係る 検討会だより

田原市では現在、第一保育園と中部保育園の統合を円滑に実施するため、両園の関係者により『第一保育園及び中部保育園の統合に係る検討会』を設置しています。
検討会だよりを通じて、取組状況などをお知らせしていきます。

第1回統合検討会

10月24日(木)、第一保育園で第1回検討会を開催しました。

- (委員) 両園保護者会代表4名、民生・児童委員2名
田原中部・衣笠校区コミ代表2名
保育園長2名、市役所職員1名 計11名
(顧問) 市議会議員2名



検討会(第1回)の実施内容

【報告事項】

(1) 公立保育園の適正化、(2) 適正化スケジュール、(3) 保護者説明会の開催状況について共有しました。

【主な確認事項】

統合に向けた「慣らし保育(交流保育)」について

- 園児同士が、前以っての関係づくりとして行事・イベント等において交流の機会を持つ「慣らし保育」を行うことで、子どもの不安感や負担感の解消に努めていきます。
令和7年度、中部保育園は第一保育園や稲場保育園と行っていく予定です。
- また慣らし保育は今現在も「交流保育」という形で、子どもの育ちを伸ばす手段として第一・中部保育園を始め、様々な保育園の間で行われています。

第一保育園での保育について

- 多くの子どもと出会う環境のなかの方が、社会性や協調性、競争心等を育む機会をより多く提供できると考えています。子どもは成長するにつれて友達が意識できるようになり、遊びや食事など活動の内容によって一緒に行動するグループが変わるため、人数が多ければ、より人間関係が広がり(子どもの居場所が多くなる。)、より多くの経験を積むことや人間関係を築くことが可能になります。



第一・中部保育園の交流保育の様子
(令和5年度/ドッジボール)

- また、集団での子どもの育ちを見つつ一人ひとりの個性を大切に保育しています。
保護者が安心して預けられるよう、園の役割として今後も工夫した保育をしていきます。

その他

- 第一保育園は津波災害警戒区域に立地していますが、現在も、第一保育園では『正しく恐れて正しく事前防災』に取り組んでおり、避難訓練や備蓄品を整備し、安全性を高めています。
- できることとできないことがあります。心配事は一つでも減らして進めていき、より良い新しい保育園にしていきたいと考えています。
- ソフト面では、慣らし保育・交流保育などを各園で行うとともに、ハード面では、合同保育に向けできる範囲で園の整備を行っていきます。

【参加者からの意見】（慣らし保育（交流保育園）、保育園の統合について）

- 子どもにとっては、友達が多い方が良い。
- 子どもがより多くの経験をより多くの仲間と築くことは、教育においてとても重要。
- 保育園の統合や合同保育への不安は今日の説明を聞いて少なくなった。保育現場の声を、保護者にもっと伝えていくことが大事。
- 子ども同士が交流を持てる機会がたくさんあると良い。
- 子どもは柔軟性が高いので、皆とすぐに仲良く遊べるようになる。
- 今後も触れ合える機会を増やしてもらえると、不安は減る。
- お父さんにも適正化の内容や情報が伝わるように工夫したい。
- 保護者の不安解消ができるよう、今後も丁寧に耳を傾け、園はコミュニケーションを密に取ってもらいたい。

慣らし保育（交流保育） 秋の遠足に一緒に行きました！



10月11日、第一保育園と中部保育園が遠足の機会に一緒に交流しました。

- 両園の交流は、自分の園以外にも同じ年の友達がいることを知ったり、関わりを広げる場、お互いの経験を伝え合う場になると考え、交流保育を行っています。

(by 中部保育園長)

- 両園の子どもたちは、お互い友達づくりができていました。今後も交流の場を作り、子どもの育ちを伸ばしていきます。

(by 第一保育園長)



皆でアスレチックなどで遊んだりしました！

違う園のお友達と山登り！始めは園ごと別れていましたが、登っていると自然と一緒に登ってました！

